

1. 公文書館整備事業

(予算額)1,460,000千円
(所管課)総務課

○公文書館の建設工事等に要する経費

現状・課題

- 市民の知的資源として重要な公文書等の適切な保存・管理を行うとともに、市民や職員等の利用者が公文書等へアクセスしやすい仕組みを構築することが重要。
- R4.11月に『公文書の適正な管理を実施するため、公文書館及び中間書庫の設置を早期に実現すること』との答申が出されたことを受け、公文書館の整備を進めている。

事業概要

- 令和7年度に基本・実施設計を終了。令和8年度に建設工事に着手し、約1年6か月の工事期間を経て令和9年度末に開館予定。

- 事業費:1,460,000千円

- 建設予定地:北区植木町轟

○事業内容

- (1)公文書館建設工事【1,459,202千円】

※積算内訳※

(単位:千円)

事業名	費目	R8年度	R9年度	合計
熊本市公文書館建設工事	工事費	1,048,520	1,572,780	2,621,300
	委託費	6,102	14,237	20,339
	小計	1,054,622	1,587,017	2,641,639
機械設備工事	工事費	239,492	359,238	598,730
電気設備工事	工事費	165,088	247,632	412,720
	合計	1,459,202	2,193,887	3,653,089

- (2)水道加入金【660千円】

- (3)土地登記経費【77千円】

イメージ図



2. 公文書等デジタル化推進経費

新

(予算額)120,000千円
(所管課)総務課

○(仮称)熊本市公文書館システム構築・導入及び歴史資料等のデジタル化に要する経費

現状・課題

- 市民の知的資源として重要な公文書等の適切な保存・管理を行うとともに、市民や職員等の利用者が公文書等へアクセスしやすい仕組みを構築することが重要。
- さらに、経年劣化が進行する資料等を確実に後世へ残し、活用の幅を広げるための環境整備が必要。

事業概要

- 事業費:120,000千円

○事業内容

- (1)(仮称)熊本市公文書館システム構築【20,000千円】

既存システム※の機能を統合し、目録情報や公文書等の画像データを一元的に管理・公開する新システムを構築。

※史料目録管理システム・行政目録公開システム・地震文書検索保存システム

- (2)公文書のデジタル化【100,000千円】

原資料の劣化防止のため保存を進める「資料保存」の観点と、市民等のシステム利用者がスマートフォン等で資料を閲覧可能とする「資料活用」の観点により、優先度の高い資料を中心にデジタル化を実施。

イメージ図

